

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2 年 3 月 31 日
2次評価日（課長等）	2 年 3 月 31 日

1 事業名	新分野開拓推進事業	コード	7106
2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 金子 郷
3 事業概要	目的体系	基本目標 人が集い、にぎわいと活力あふれるまち	
	政 策	産業の振興	施 策 工業の振興
	予算科目	新分野開拓推進事業費	業務委託 なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助 なし
	根拠法令	なし	

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	単独で工業展に出展することが困難な企業を支援するため、岡谷市及び岡谷市金属工業連合会と共同出展し、首都圏等において自社の技術PRを行う機会を提供する。
目 的	対 象 者 市内企業（展示会に出展し、自社PRを必要とする企業）
	意 図 新規受注確保

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ■首都圏等で開催される工業展において、市が出展小間を確保し小規模企業者等と共同出展することにより市内企業が保有する技術等のPRを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・第4回名古屋機械要素技術展：愛知県（市内企業11社、1団体） ・NAGANOものづくり諏訪圏域「新技術・新工法展示商談会」in DAIHATHUI（市内企業9社） ・第22回関西機械要素技術展：大阪府（市内企業10社、1団体） ・諏訪圏工業メッセ2019：諏訪市（市内企業63社・団体） ・第23回いたばし産業見本市（1団体） ・第10回微細加工EXPO：東京都（市内企業9社、1団体） ■新規受注開拓推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・展示会出展事業補助金【一般枠】（交付件数：1件、交付金額：200,000円） <li style="padding-left: 40px;">【次世代枠】（交付件数：1件、交付金額：31,000円） ■ビジネス商談事業（受注開拓） <ul style="list-style-type: none"> ・中京圏の企業訪問52件、首都圏の企業訪問43件、その他地域の企業訪問11件 ・ものづくりフェア2020において京都府との企業商談会を開催した。（参加社数5社） 	
前年度の課題への 対応	市内企業の新たな受注開拓を支援するため、積極的に中京圏・首都圏等の企業訪問を行った。

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	出展社数			単位	社
実績値	105	118	111		
*指標の説明	出展社数				
② 成果指標（指標名）	商談の引き合いがあった件数			単位	件
目標値	98	109	88	89	
実績値	109	88	89		
達成度	111.2%	80.7%	101.1%		
*指標の説明	商談の引合いのあった件数（試作、見積依頼、商談予約）				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	13,695,495	13,695,495	16,383,605	20,436,000
経常経費	3,781,834	3,781,834	6,701,784	8,718,000
臨時的経費	9,913,661	9,913,661	9,681,821	11,718,000
* 臨時的経費の説明	展示会小間料、電気装飾、運搬料、旅費等			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	19,295,495	19,295,495	21,983,605	26,036,000
前年度比		100.0%	113.9%	118.4%
財源	15,322,495	15,077,495	16,084,605	19,530,000
一般財源				
内訳	3,973,000	4,218,000	5,899,000	6,506,000
特定財源				
* 特定財源の説明	展示会出展費用(実費徴収金)			
④ 活動一単位あたりコスト	89,351	79,507	110,827	
前年度比		89.0%	139.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
諏訪圏工業メッセ補助金	件数	1	1	1
	金額	2,477,440	2,466,560	2,458,240
試作支援事業補助金	件数	0	0	0
	金額	0	0	0
展示会出展事業	件数	2	1	2
	金額	386,000	100,000	231,000
共同受注グループ支援事業補助金	件数	1	2	0
	金額	50,000	100,000	0
海外展開支援事業負担金	件数	0	1	0
	金額	0	100,000	0
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,913,440	2,766,560	2,689,240
	割合	21.27%	20.20%	16.41%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	101.1%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	101.1%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 首都圏等で開催される工業展への出展や大手企業に対する営業活動は、コスト面等が負担となり市内企業単独では困難である。
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 首都圏等で開催される工業展の出展ブースを岡谷市が確保し、市内企業が共同出展することによりコスト負担を軽減でき、自社が保有する技術を大都市圏においてPRできる。また、岡谷市が窓口となり、大手企業に対して営業活動を行うことにより、新たな受注確保に結びつける。
改善方法	
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---